

質問要旨 平成28年度決算で、本市の施設維持管理
に係る委託料の支出額はいくらか。

答弁要旨

企業会計で経理しているもの及び指定管理委託料を除いて、清掃業務や警備業務、空調や昇降機の保守点検など、施設維持管理事業費等に計上されている委託料は、約30億円となっております。

以上

楠村議員 1002 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1
質疑要旨 歴史館の耐震等改修について概算でどれく
らいの予算がかかるのか

答弁要旨

文化財収蔵庫と地域研究史料館の機能を併せ持つ歴史館機能につきましては、尼崎市立文化財収蔵庫がある旧城内中学校の1階から3階までを活用して整備するものでございます。

耐震等改修整備工事の概算費用につきましては、昭和初期の建物を博物館仕様に改修する点を踏まえ、現在、必要な整備内容等を設計業務委託のなかで鋭意検討しているところでございます。

以上

質問要旨

公共施設の管理コスト削減について、どのような考えか。

答弁要旨

公共施設マネジメント基本方針では、3つの方針のひとつとして「効率的・効果的な運営」を掲げ、管理運営に係るコスト縮減やサービスの質の向上につながる事業手法などを検討し、運営コストの最適化を目指すこととしております。

具体的な内容といたしましては、光熱水費などの維持管理経費の情報の一元化を行い、比較・検証を行ったうえで効率的な運営の推進や、施設管理委託業務での仕様の標準化、事業運営などでの民間活力の活用を示しております。

また、「第1次尼崎市公共施設マネジメント計画(方針1:圧縮と再編の取組)」においては、新電力活用の推進による電気料金の抑制や、指定管理者制度の拡大などに引き続き取り組んでいくこととしております。

以上

質問要旨

公共施設管理業務について包括委託を行い、業務の効率化、管理コストの削減を行ってはどうか。

答弁要旨

業務の効率化、管理コストの削減につきましては、厳しい財政状況にある中、早期に効果が見込めるものから着手することとしており、先ほどもご答弁いたしました通り、新電力活用の推進や、指定管理者制度の導入施設の拡大に取り組むこととしております。

こうした中で、平成29年度は、電力の見直しにより約2億円の効果を見込んでおり、今後も、公共施設の「圧縮と再編の取組」と連携しながら、指定管理者制度の導入拡大の検討を進めていくこととしております。

一方で、「市内事業者の受注機会等の増大」の考え方に基づき、優先的に市内事業者に発注するよう努め、分離・分割発注にも取り組んでいるところでございます。

こうした中、ご質問の公共施設の管理業務の包括委託は、発注方法に多くの調整項目がありますことから、

慎重に検討を進めるべき

課題であると認識しております。

(以上)

楠村議員 2003 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1

質疑要旨 現在、1日平均で約60人しか来ない施設に
十数億円もかけて整備することに市民の同意は得ら
れるのか

答弁要旨

城内まちづくり整備事業につきましては、市制100周年を契機として、「都心と歴史文化ゾーンが調和した交流と学びの拠点の創出」を目指し、平成27年度に城内地区整備計画を策定し、国庫補助事業として、平成28年度から平成32年度までの5カ年で取り組んでいるところでございます。

歴史館機能につきましては、尼崎の歴史文化を学ぶ拠点として整備をするもので、中心拠点誘導施設として、同計画の趣旨に沿って整備を進めていくこととしております。

以上

楠村議員 2004 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1

質疑要旨 歴史館機能は入館料をとるのか。また年間
どれくらいの維持管理費がかかるのか

答弁要旨

歴史館機能の入館料につきましては、尼崎の歴史文化を学ぶ拠点として、また城内地区整備計画の目標達成に向けて、さらには再建される尼崎城などどのように連携を図っていくか、などの観点から現在検討しているところでございます。

次に、年間の維持管理費につきましては、平成 28 年度決算ベースで文化財収蔵庫と地域研究史料館に係る経費 で約2,000万円となっておりますが、歴史館機能を整備することにより文化財収蔵庫に係る資料保管用倉庫の賃借料 年間約470万円、地域研究史料館に係る総合文化センターの賃借料 年間約930万円が不要となります。

一方、設備の仕様など整備内容について、現在、詳細設計を進めているところでございますので、維持管理費全体につきましては、引き続き精査してまいります。

以上

楠村議員 2005

作成部局 教育委員会 No. 1

質問要旨 竣工から80年ほど経っているが耐震補強工
事を行ったとして、その後何年この建物を使えるか

答弁要旨

耐震補強工事だけでは建物の寿命が延びることはございませんが、文部科学省の長寿命化計画策定の手引きによりますと、改修及び適切な維持管理を行い、強度が確保されれば、鉄筋コンクリート造の建物の場合、技術的には100年以上持たせることも可能とされています。

当該建物につきましては、耐震補強工事に加え、防水や外壁等についても改修いたします。

さらに、歴史的に価値がある建物で、後世に承継していく必要があると考えており、整備後につきましては、適切な維持管理を行い、長期使用してまいります。

以上

楠村議員 2006 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1

質疑要旨 尼崎城が完成すれば周辺に大型バスの駐車場がない。現在の建物を撤去して大型バスの駐車場にしてはどうか。

答弁要旨

歴史館機能につきましては、平成 27 年度に城内地区整備計画を策定し、国庫補助を活用しながら、現在事業を進めているところでございます。

従いまして、尼崎の歴史文化を学ぶ拠点として整備するとともに、地域の観光資源としても活用することから、建物を撤去する考えはございません。

一方、尼崎城がオープンすれば市内外からの多くの観光客などが来られることが予想されることから、大型バスの乗降場所については、阪神電鉄尼崎駅周辺に誘導する方向で現在、検討しているところでございます。

以上

楠村議員 2007 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1

質疑要旨 歴史館の耐震等改修について、尼崎城の来
場者数などを見てから検討できないのか

答弁要旨

歴史館機能の耐震等改修整備工事につきましては、平成28年度から平成32年度までの5カ年の国庫補助事業である城内地区整備事業のなかで取り組んでいるところであります。

現在、倉庫に保存している貴重な歴史資料や美術工芸資料などを展示するなど、実物資料の魅力と迫力を感じてもらえるよう、登録博物館として整備してまいります。

尼崎城へ来ていただいた方が、さらに「もっと歴史のことについて学びたい」と、歴史館機能へ足を運んでいただけるよう尼崎城とも連携を図るなど、より多くの方々にご利用いただけるよう取り組んでまいります。

以上